

身体重心の移動で腰・膝への負担軽減

移乗補助装置

# 立ち助 For You とは

車椅子からの移乗は介助者が中腰姿勢で持ち上げることが多く、腰や膝などに大きな負担がかかります。このような移乗介助は腰・膝など筋骨格系障害を発症させる原因につながります。腰痛を防ぐには適切な介護動作を身につけ、腰にかかる負担を減らす「腰痛予防対策」を講じることが喫緊の課題として解決される事が望まれております。

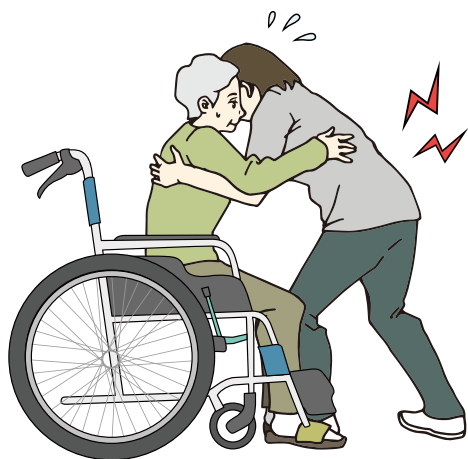
当社では、これらの問題を解決する起立介助装置「立ち助」を開発いたしました。

本装置は、現在使用している既存の車椅子シート上に簡単に装着し、ハンドルレバーを操作することにより、着座している座面を30°～35°まで傾斜させることで利用者の臀部を押し上げ、楽に立ち上がれるよう支援するとともに、利用者の残存能力を引き出す効果が期待されます。

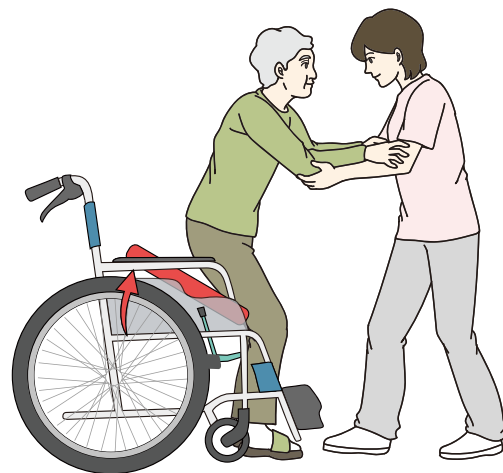
「抱き上げない」腰痛予防対策として新しい介助技術を「立ち助」は提案いたします。



利用者・介助者・管理者みんなが笑顔になれるための「立ち助」です



腰痛予防対策



車椅子利用者

要支援1・2 / 要介護1・2・3程度

- ① 自分の力で立ち上がりたい!
- ② 膝への負担を軽減

その思いを支援する

介助者

家族 / 介護職

- ① 腰・膝への身体的負担を軽減
- ② 介助効率および介護意欲の向上

管理者

経営者

- ① 介護現場の環境改善
- ② コスト軽減およびサービスの質の向上

